

乳幼児健診 所・問 保健センター ☎82-8211

3・4か月児健診	こんにちは赤ちゃん訪問時に案内済み。 4か月に入っても通知がない人、市外から転居してきた人はご連絡ください。
1歳6か月児健診	対象児に個別通知済み。1歳7か月に入っても通知がない人はご連絡ください。
3歳児健診	対象児に個別通知済み。3歳2か月に入っても通知がない人はご連絡ください。

子育て連絡帳

● **児童センター** ●

各児童センターのイベントは市ホームページでお知らせしています。

市ホームページ▶ 

● **子育て支援センター** ●

各子育て支援センターのイベントは市ホームページでお知らせしています。

市ホームページ▶ 

母子相談など 所・問・申 保健センター ☎82-8211 ※電話相談は随時受付しています。

相談など	時・持	対・定・その他
離乳食講習 [要申込]	<p>時 前期 11月16日(月) 後期 11月11日(水) 13時～14時30分頃</p> <p>持 母子健康手帳、バスタオル</p>	<p>対 〈前期〉生後4か月～7か月の乳児の保護者 〈後期〉生後8か月以降の乳児の保護者</p> <p>定 25組(先着順)</p> <p>申 前期は11月13日(金)、後期は11月9日(月)16時までに二次元コードまたは市ホームページから申込み。</p> <p></p> <p>▲母子保健事業申込みフォーム</p>
マタニティ クラス (妊娠届出・ 母子手帳 交付)	<p>時 毎週火・木曜日(祝休日を除く) [受付]9時30分～10時 ※指定日時に来所できない場合はご連絡ください。</p> <p>持 妊娠届出書、通知カードまたはマイナンバーカード(個人番号カード)、本人確認ができるもの、妊婦本人名義の振込先金融機関口座が確認できる通帳(電子通帳、ネット銀行の場合は口座名義・口座番号が確認できる画面)</p>	<p>交付時に妊娠届アンケートによる健康相談を全ての人に実施します。妊婦のための支援給付についてご案内します。 時間にゆとりをもってお越しください。 (初妊婦は説明に1時間程度かかります)</p> <p></p> <p>▲市ホームページ</p>
マタニティ サロン	<p>時 毎週木曜日(祝休日除く) 11時～正午</p> <p>持 母子健康手帳、バスタオル、ハンドタオル</p>	<p>内 妊娠中からの授乳の準備について</p> <p>対 おおむね妊娠8か月以降の妊婦</p> <p>※母乳・授乳を中心とした産後の育児についてのお話です。 おおむねを診ることがありますので男性はご遠慮ください。</p> <p>申 不要</p> <p></p> <p>▲市ホームページ</p>
おっぱい 相談 [要申込]	<p>時 月～金曜日 時間は要相談(祝休日を除く)</p> <p>持 母子健康手帳、バスタオル、授乳に必要なもの</p>	<p>対 おおむね6か月までの乳児の母親</p> <p>※お子さんと一緒に来所してください。 ※医療行為はできません。医療機関受診をすすめる場合があります。</p>
歯☆ぴか 健診	<p>時 12月1日(火) [受付]13時～13時40分</p> <p>内 歯科健診、歯科相談、フッ化物塗布</p> <p>持 母子健康手帳、歯ブラシ、フェイスタオル</p> <p>¥ フッ化物塗布費用300円</p>	<p>対 2歳児</p> <p>2歳児の歯科健診、フッ化物塗布を実施しています。乳歯のときからむし歯予防の習慣をつけることは、永久歯をむし歯から守ることにつながります。</p>

**SIDSを予防しましょう
～11月はSIDS対策強化月間です～**

問 保健センター(☎82-8211)

乳幼児突然死症候群(SIDS)は、それまで元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく、睡眠中に突然亡くなる原因不明の病気です。全国では、約6千人に1人が亡くなっています。生後2～6か月に多く、まれに1歳以上でも発症することがあります。原因はまだ分かっていません。次のことに注意して、予防しましょう。

▼SIDSから赤ちゃんを守る3つのポイント

- ①あおむけに寝かせましょう
- ②タバコはやめましょう
- ③できるだけ母乳で育てましょう

12月1日は世界エイズデーです

問 衣浦東部保健所 生活環境安全課
(☎21-4797)

世界エイズデーにあわせて、匿名の即日検査を実施します。感染の不安がある人はこの機会に検査を受けましょう。

時 11月29日(日) 9時～11時

所 衣浦東部保健所

申 不要

成人健(検)診

【費用免除制度について】 年度末年齢70歳以上の人(マイナ保険証等提示)、障害者医療費受給者その同程度の障がいをもつ人(受給者証提示)、市民税非課税世帯および生活保護による被保護世帯に属する人(保健センターへ事前申請※要印鑑・身分証明書)は費用免除になります。

集団検診(11月～令和9年1月)

【場所】パ:パティオ池鯉鮒、健:刈谷医師会健診センター、保:保健センター 【時間】午前 △残りわずか

検査方法	対象	受診料	11/5(木)	11/20(金)	12/15(火)	1/21(木)
			パ	保	健	健
18～39歳健診 ※国保加入者は無料	18～39歳	700円	—	—	△	—
胃がん検診	40歳以上	500円	△	○	○	○
大腸がん検診	40歳以上	300円	△	○	○	○
肺がん・結核検診	15歳以上	無料	△	○	○	○
子宮頸がん検診	20歳以上の女性	500円	△	△	○	○
乳がん検診	40歳以上の女性	1,100円	△	△	○	○
前立腺がん検診	50歳以上の男性	400円	△	—	○	—
肝炎ウイルス検診	40歳以上で過去に受けたことのない人	無料	△	—	—	—
骨粗しょう症検診	20歳以上	300円	△	△	△	—

検診の詳細は市ホームページをご覧ください。



▲市ホームページ

申 半田市医師会健康管理センター「がん検診予約係」 ☎0569-27-7890
(受付時間: 月～金 9時～17時、土 9時～正午 祝日を除く)

個別検診

指定医療機関で乳がん、子宮頸がん検診の受診ができます。胃がん、大腸がん、肺がん・結核検診は終了しました。指定医療機関は二次元コードからご確認ください。

※車いす等を使用しており、受診の際スタッフの介助が必要な人は、事前に保健センターへご相談ください。

申 希望する指定医療機関へ直接ご連絡ください。

健診センターでの市民ドック(人間ドック)、乳がん、子宮頸がん検診

申 刈谷医師会健診センターへ電話(☎91-3010)またはインターネット予約フォームから。土曜日も受診可。
受付時間: 月～金 9時～16時、祝日を除く

健診センター
インターネット
予約フォーム



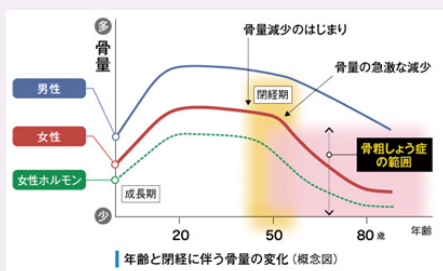
イベント・検査

内 容	問 保健センター(☎82-8211)
健ボラウォーキング	11月18日(水) 【集合】9時20分に保健センター 竜北中学校と山屋敷うらみち歩き(5.1km)
内 容	問 衣浦東部保健所(☎21-4778)
夜間HIV・梅毒検査	11月2日(月)、16日(月) 18時～19時 ☎21-4797 ※匿名検査
HIV・梅毒・肝炎検査 骨髄バンクドナー登録	11月10日(火)、17日(火)、24日(火) 9時～11時 ☎21-4797 ※HIV・梅毒は無料匿名検査可、証明書は有料。肝炎は無料記名検査、証明書発行不可。 骨髄バンクドナー登録は要予約。
検便・水質・食品検査(有料)	☎21-9353 ※詳細は電話でお問合せください。



骨粗しょう症を予防しましょう

問 保健センター(☎82-8211)



引用元:公益財団法人骨粗鬆症財団

骨粗しょう症は、骨がもろくなり、骨折しやすくなる病気です。特に女性は閉経後、骨を作る細胞を活発にする女性ホルモン(エストロゲン)の分泌が減るため、骨量が減少しやすくなります。

骨量とは、骨に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分の総量で、成長期に増加し、20歳頃に最大骨量に達します。その後は横ばいが続き、40歳頃から徐々に減少します。骨量が減少するとミネラル成分が減少し骨密度も低下、骨粗しょう症につながります。

骨の健康を守るためには、20歳までに獲得する最大骨量を大きくすること、その後の骨量減少を最小限にすることが大切です。

▼骨の健康を守るポイント

- ① バランスのよい食事 牛乳・乳製品、魚、大豆製品、緑黄色野菜など、さまざまな食品を組み合わせるバランスよく食べましょう。
- ② 適度に体を動かす 運動の刺激により骨が強くなります。無理のない範囲で体を動かしましょう。
- ③ 骨の状態を知る 骨粗しょう症は、自覚症状がないまま進行することがあります。市では骨粗しょう症検診を実施しています。(上記集団検診に記載)